

# Compliance Guardian 3

**SP2 CU1**

リリースノート

リリース日: 2014 年 6 月 17 日

## 新機能と強化点

- **検疫マネージャー** メール テンプレートが追加されました。このテンプレートを使用することにより、Compliance Guardian (以下、CG と表記) は SharePoint の検疫マネージャーへの URL を含むメールを送信します。(SharePoint 2010)
- ユーザー別に、異なる種類のアラートを送信することが可能になりました。
- Yammer リアルタイム分類スキャナー、Yammer レポート、人的監査で、リアルタイム分類スキャナーの個別権限コントロールが使用可能になりました。
- AvePoint Yammer コネクタ Web パーツと SharePoint Online でライセンス コントロールが使用可能になりました。
- ネットワーク負荷分散が使用可能になりました。
- ソリューション マネージャーに **YammerConnector.wsp** ソリューションが追加されました。
- **分類レポート データベース アップグレード ツール** が追加されました。このツールを使用すると、CG3 サービス パック (SP) 2 以前のバージョンの分類レポート データベース データをアップデートすることができます。
- Yammer レポート、AvePoint Yammer コネクタ Web パーツ、Yammer 用リアルタイム分類スキャナーが SharePoint で使用可能になりました。
- **リスク数式のエクスポート** 機能がリスク レポートに追加されました。この機能を使用すると、リスク計算に使用可能な XLSM ファイルを出力し、リスク結果を図表形式で表示することができます。
- コンプライアンス レポート モジュールに、**人的監査** 機能が追加されました。この機能には **監査履歴** が含まれています。
- **インシデント マネージャー** モジュールに、検疫・暗号化・墨消しエリアが追加されました。また、アカウント マネージャーに 3 種類のアクセス許可レベルおよび権限グループが追加されました。この機能の追加により、インシデント マネージャーの検疫、暗号化、墨消し機能にアクセスできるユーザーを制限することが可能になりました。
- 分類スキャナーを利用して、ファイルのコンテンツ タイプ ID に基づくスキャンと分類を実行することが可能になりました。(SharePoint 2010/2013)
- Compliance Guardian マネージャーと Compliance Guardian 認証マネージャーのクライアント 証明書の認証へのログオンに、スマートカード認証が使用できるようになりました。
- ユーザー プロファイル サービス ノードを選択する場合、分類スキャナー、コンプライアンス スキャナー、スケジュール分類スキャナー、スケジュール コンプライアンス スキャナーを使用して、SharePoint のメモ掲示板のメモに対するスキャンが可能になりました。
- コントロール パネルに、SharePoint サイトに関連する機能が追加されました。

- コンプライアンス レポートのテスト パッケージ・分類およびタグのテスト パッケージに、**Operator** エレメントが追加されました。
- SharePoint Online のニュースフィード、メモ掲示板のメモ、ユーザー プロファイルに対するスキャンが可能になりました。
- テスト パッケージ マネージャーのチェックに **CustomScan** タイプが追加されました。
- **分類スキャナー** ジョブで、スキャンされたファイルのリスク スコア計算に使用される属性が、分類およびタグのテストパッケージに追加されました。
- **アクション レポート** 機能が追加されました。
- **Compliance Guardian 監査** が追加されました。
- コンプライアンス レポート モジュールに、**ビジュアル アナライザー レポート** 機能と **すべてのレポートを HTML へエクスポート** 機能が追加されました。
- **墨消し** 機能が追加されました。また、テスト パッケージ マネージャーのチェックに **Redaction** タイプが追加されました。
- スケジュール分類スキャナー・コンプライアンス スキャナーを使用して、個人用サイトが作成されていない場合でもユーザー プロファイルのスキャンが可能になりました。User Profile Service ノードは、**ComplianceSetting.config** ファイル内の **UserProfile Used="false"** ノードを変更 (値を **false** から **true** に変更してください) することにより、ファーム ツリーに表示されます。
- リアルタイム分類スキャナーで、SharePoint 2013 のニュースフィードの投稿および返信をスキャンすることが可能になりました。
- **Redaction** タイプのチェックや墨消し用のスキャン ポリシーなど、墨消しに関連する機能がアクション ポリシーに追加されました。
- CG がファイル システムのファイルにタグ付けを実行した後も、ファイル システムの **更新日時** プロパティと **アクセス日時** プロパティは残ります (ファイルにタグが追加された後も、これらのプロパティは変化しません)。
- **SystemUpdate** に対応しました。これにより、SharePoint へのタグの追加後、最終更新者と最終更新日時が変更されずに残ります。
- テスト パッケージ マネージャーに **バージョン履歴** 機能が追加されました。
- **スキャン結果** に検索機能が追加されました。
- Compliance Guardian マネージャーをコマンドラインを使用してインストールする場合、パラメータ **-CustomTDFPath**の利用が可能になります。このパラメータの値は、カスタム チェックを含む zip ファイルのパスです。**-CustomTDFPath** を事前構成しておくことにより、CG のインストールと同時に、チェックがテスト パッケージ マネージャーに読み込まれます。
- コマンドラインを使用した CG のインストール機能が追加されました。

- コンプライアンス レポートで使用できるテスト パッケージに [Hybrid] 機能が追加されました。このオプションを選択すると、CG はサポートされたファイル タイプをスキャンします。スキャン対象のファイル タイプが CG 内でサポートされていないタイプである場合、スキャンに **iFilter** が使用されます。
- リアルタイム分類アクションが実行された場合に表示されるページおよびエラー メッセージのカスタマイズが可能になりました。
- GUI インターフェイスに、Web サイト用コンプライアンス スキャナーの詳細説明が追加されました。
- **ComplexFindText** タイプ チェックおよび **ComplexRegex** タイプ チェックに、**MaxDistanceToPrimary** 要素が追加されました。
- テスト パッケージ テンプレートに **Redaction** 用および **Yammer** 用が追加されました。
- インシデント マネージャーの **プロパティの表示** ウィンドウに、**元の場所**、**データの移動元**、**作成日時** などの情報が追加されました。
- **ユーザー通知アラート** タイプのプロファイルに、**SharePoint グループ** オプションが追加されました。このアラートは、指定された SharePoint グループのメンバーに対して送信することが可能です。

## 既知の問題

- コンプライアンス スキャナーで完全スキャンを実行し、かつステータスが **完了 (実行中に例外あり)** の場合、構成されたレポートの保持ルールは有効化されません。
- SharePoint ページに存在するビデオ、オーディオ、アプリ パーツ、Web パーツ、ピクチャ、ファイルのアップロード、ピクチャの代替情報は墨消しできません。
- Microsoft Office ファイルにオブジェクトを挿入し、[ファイルにリンク] チェックボックスをオンにすると、オブジェクト名はスキャンされますが、オブジェクトのコンテンツはスキャンされません。逆に、Microsoft Office ファイルにオブジェクト (CG で対応しているオブジェクト タイプ) を挿入し、[ファイルにリンク] チェックボックスをオフにすると、オブジェクト名はスキャンされませんが、オブジェクトのコンテンツはスキャンされます。(SharePoint 2010 SP1)
- リアルタイム分類スキャナー ルールをライブラリに対して適用した場合、ルール内のスキャン ポリシーに従ってファイルおよび SharePoint にタグが追加されます。SharePoint でライブラリを選択し、リボン上で **新しいドキュメント** を選択すると、新規に作成されるドキュメントおよび SharePoint にはタグは追加されません。
- CG 3 SP1 CU1 を使用してウェブサイトのスキャンし、その後 CG 3 SP2 CU1 へのアップデートを実行した場合、CG 3 SP2 CU1 のビジュアル アナライザーにはスキャン結果が表示されません。これは、ビジュアル アナライザーが 3 SP2 CU1 の新機能であることに起因するものです。回避策としては、CG 3 SP2 CU1 を使用してジョブを再実行してください。(SharePoint 2013)

- 検疫アクション **別の場所へリストア** の影響を受けたファイルまたはアイテムを SharePoint にリストアすると、リストアされたファイルもしくはアイテムの評価、SharePoint タグ、メモはリストアの完了後、消去されます。(SharePoint 2013)
- コンプライアンス スキャナーを使用してポートが数字でない URL を含むファイルをスキャンする場合、URL はスキャンによって認識されません。スキャンの終了後、ファイル エラー レポートにこのファイルが表示されます。これは、OpenXML の例外によるものです。(SharePoint 2010 SP1)
- リアルタイム分類ルールが関連するアクション ポリシーを含んでおり、かつそのアクションが既定の値を含むライブラリの列によってトリガーされる場合、ユーザーがアクションをトリガーしない値を使用してアップロードを実行した場合でも、アクションがトリガーされます。(SharePoint 2010 SP1)
- 旧バージョンから CG 3 SP2 CU1 へのアップデートを行う場合、エージェント グループ DEFAULT\_AGENT\_GROUP\_FOR\_SHAREPOINT\_SITES はエージェント グループのリストに表示されません。また、個人用登録済みサイト ノードはコンプライアンス スキャナーと分類スキャナーのツリーに表示されません。これは、SharePoint Online サイトのスキャンは CG 3 SP2 CU1 から追加された新機能であること、および SharePoint Online および個人用登録済みサイトのノードをスキャンする際に使用される既定のエージェント グループは、エージェントがマネージャーに接続する際に作成されることに起因します。アップデート実行以前にエージェントがマネージャーに接続しているため、このエージェント グループはこのアップデート後に存在しなくなります。回避策としては、**コントロール パネル > エージェント モニター** の順に移動し、旧バージョンの CG からアップデートされたエージェントを選択します。リボンの **構成** をクリックし、エージェント用に SharePoint Online 用コンプライアンス スキャナー タイプと SharePoint Online 用スケジュール分類スキャナー タイプを、**構成** インターフェイスで選択します。設定を保存します。**エージェント モニター** インターフェイスで再起動を選択し、エージェントを再起動してください。

## 通知

この発行に含まれている資料は AvePoint, Inc に所有または提供され、AvePoint およびそのライセンス提供会社のプロパティであり、著作権、登録商標ならびに他の知的所有権に関する法律によって保護されています。この発行内の登録商標または著作権はいずれも削除または変更することができません。

## 著作権

Copyright © 2014 AvePoint Japan K.K. All rights reserved. 本書の著作権は AvePoint Japan 株式会社に帰属します。本書に掲載されている情報はすべて日本著作権法において保護されており、内容の無断複製、更新、転載を禁じます。本書のいかなる部分、いかなる書式および電子通信、機械的送信、複写、記録などのいかなる方法、あるいは AvePoint Japan 株式会社 (〒 108-0074 東京都港区高輪 4 丁目 10 - 18 京急第一ビル 11 階)、ならびに本書に掲載する情報がサードパーティに所有される場合サードパーティによる事前の文書による許諾なしに複製、保存、送信を禁じます。

## 登録商標

AvePoint®、DocAve®、AvePoint ログおよび AvePoint ピラミッド ログは AvePoint Japan 株式会社による日本特許庁登録済みの商標です。これらの登録商標および本書に使用されている他の商標はすべて AvePoint の専有プロパティであり、文書による許諾なしには使用できません。

Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Microsoft Office SharePoint Servers 2007/2010/2013、SharePoint Portal Server 2003、Windows SharePoint Services、Windows SQL server、および Windows はマイクロソフト株式会社の商標または登録商標です。

Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は Adobe Systems, Inc の商標です。

その他本書に掲載されている商標はすべて該当の所有者のプロパティであり、許諾なしに使用することを禁じます。

## 変更

本書は情報の提供のみを目的とし、通知なしに変更または更新される場合があります。当社では最新、そして正確な情報を提供するよう努力しておりますが、あらゆるコンテンツの誤りもしくは脱落に起因する間接的、派生的に生じた損害に対し、一切の責任を負わないものとします。当社は、ユーザーに対し予告、通知をすることなく記載内容を変更する権利を所有します。

AvePoint Japan 株式会社

〒 108-0074 東京都港区高輪 4 丁目 10-18

京急第一ビル 11 階